

息抜きの散歩道 Vol.18

編集・発行/日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
発行日：2022年10月15日 ホームページ <https://library.nit.ac.jp>

特集：「LCセンターから」拡大版

4面に掲載している「LCセンターから」では、イベントの開催報告、サービスの変更などを掲載しています。今号は、イベント開催やサービス変更が多数あったため、1面にもコーナーを「出張」させました。

スタンプラリー開催

(7月4日～7月29日)

2021年度に続き、LCセンターの学生ボランティア「ライブラリーサポーター」が企画した「スタンプラリー」が開催され、延べ50名が参加しました。今年度は、ライブラリーサポーターが、スタンプラリー用のアプリを作成。館内4か所に配置されたQRコードを探し、アプリ内の電子スタンプを集める方法で実施されました。参加者からは、「行ったことがない場所も行くことができた」「楽しい図書館巡りでした」などの声が寄せられました。



掘り出し物フェア開催

(春学期：6月6日～6月30日)

(秋学期：9月12日～10月13日)

除籍図書と廃棄雑誌の有効活用のため、学内者に配布をしています。コロナ禍の2020年度を除き、毎年1回から2回開催してきました。秋学期は1階ギャラリーで配布し



ました。興味深そうに手に取り、気に入った図書を持ち帰る様子が見られました。

選書ツアー開催

(8月23日)

学生が本屋を訪れて、実際に本の内容を確認しながら、「LCセンターに入れてほしい図書」を選ぶイベントで、昨年度は、オンライン開催でしたが、2年ぶりに本屋でのリアル開催でした。場所は三省堂書店神保町本店（仮設店舗）。ライブラリーサポーター4名と職員2名が参加し、66冊の本を選びました。10/24から開始の「特集展示」で、借りることができます。学生目線で選んだ本を、ぜひ、見に来てください。



学内選書会「特設書林」の開催

[日時]10/21(金)10:30-17:00

[場所]1階ギャラリー

LCセンターに書店がやってきます。書店の協力を得て、学術書から小説まで、約400冊を取り揃えました。学生の皆さんは、独自の目線で「LCセンター

にいたい図書」を選んでください。次号(19号)に開催報告を掲載予定です。



図書館サービスの変更について

2022年度秋学期より、原則として対面授業となることから、次の通りサービス内容を一部変更します。

延滞期間の罰則猶予の終了

返却日から遅延した日数分、図書の貸出ができなくなりますので、ご注意ください。

14日間貸出者の「30日間貸出」措置の終了

学部1-3年生、研究生、科目等履修生、研究員の皆さんの貸出期間は14日間となります。貸出冊数の変更はありません。

※図書の郵送貸出、座席の制限、開館時間変更は、秋学期も継続します。

貸出ランキング

集計期間：2022年4月1日～2022年9月30日

1. 貸出7回

『新・解きながら学ぶC言語 第2版』柴田望洋[ほか] / 著 SBクリエイティブ / 刊

2. 貸出5回

『誰でもラクに話せるコツ101：しんどいシーンをすべて解決!』今井登茂子 / 著 高橋書店 / 刊

『よくわかるPHPの教科書：PHP7対応版』たにぐちまこと / 著 マイナビ出版 / 刊

『言い方&返し方の技術：好かれて人間関係がラクになる!』山口拓朗 / 著 日本文芸社 / 刊

250文字

先生のオススメ本から、
新たな扉、開いてみませんか。

ブックレビュー

『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂 冬馬 /著 早川書房 /刊 発行年 2021.11

913.6

A 25

配架場所：8階

当センター(図書館)のSDGs特集展示「戦争について考える」(5月16日~6月25日)の開催を機に手に取った一冊である。ソ連軍女性スナイパー部隊の主人公の成長を描いた人間ドラマで、皆さんにも一読を勧めたい冒険小説だ。舞台は第二次世界大戦下の独ソ戦である。極限状態に放り込まれた主人公が最前線で生き抜くことの意味を突き詰める。彼女らの壮絶な体験を知った読者も複雑な感情を抱えながら戦場を駆け抜けることになるであろう。とりわけ「第6章 要塞都市 ケーニヒスベルク」の戦いの緻密な物語の展開は圧巻である。そして戦後の主人公を描く終章は、読者に空虚な時間の中で文意を考えることを求めているはずである。

黒津 高行 (LCセンター)

『ゼロからわかる量子コンピュータ』 小林 雅一 /著 講談社 /刊 発行年 2022.6

081

Ks

2663

配架場所
2階文庫新書

量子コンピュータという超高速計算機の開発が期待されています。「誤り訂正」という技術が開発されれば、実現に大きく近づくそうです。一方、火星探査や宇宙旅行などの宇宙開発にも多額の費用が付き込まれています。前者は超マイクロな世界、後者は超マクロな世界における現象の応用技術であり、いずれにせよ日常生活では意識しない作用が扱われています。機械工学における従来のものづくりには、大前提として地球の重力の存在がありますが、いわゆる強い力や弱い力を考慮したものづくりも考えなければならぬ時代が到来しつつあります。

増本 憲泰 (機械工学科)

『メタバース未来戦略~現実と仮想世界が融け合うビジネスの羅針盤』 久保田 瞬[ほか] /著 日経BP社 /刊 発行年 2022.6

007.35

Ku 14

配架場所：3階

メタバースとは、ユニバース(宇宙,世界)の冒頭をメタ(超越した,高次の)に変えた造語^(*)で、Facebookのザッカーバーグが2021年10月に社名を"Meta"に変更した事でも注目されている。本書の著者らは、中学~高校の同級生で、多人数同時参加型オンライン RPG⁽²⁾にハマり長時間を費やした仲であり、VR⁽³⁾やAR⁽⁴⁾等に詳しく、起業や投資関連での実績がある。他のメタバース解説書と一線を画す本書は、ビジネス視点で中長期を見据え、各界の有識者へのインタビューも交え、メタバースへの多角的な見解を語り、「現時点ではまだ見ぬものを自分たちで作ってやろう⁽⁵⁾」との気概に満ちている。

(*1) Neal Stephenson著, 日暮 雅通(訳), 「スノウ・クラッシュ」, アスキー出版, 1998

(*2) RPG: Role Playing Game (ロールプレイングゲーム)

(*4) AR: Augmented Reality (拡張現実)

(*3) VR: Virtual Reality (仮想現実)

(*5) 本書 p.250, 4~5行目より引用

生駒 哲一 (電気電子通信工学科)

『夢幻花』 東野 圭吾 /著 PHP研究所 /刊 発行年 2013.5

913.6

H 55

配架場所：8階

今回紹介する本は、アサガオを扱ったミステリー小説です。アサガオは馴染みのある植物ですが、日本では研究材料としても利用されています。というのも、江戸時代に色々な品種が生み出されたので、一風変わったアサガオ(=アサガオの変異株)のコレクションが日本に多数あるからです。さて、本書では黄色い花をつけるアサガオが題材になっていますが、黄色は珍しいというより見たことがないですね。でも、昔は存在していたようです。黄色い花をつけるアサガオがもつ特殊な性質をめぐり、どのような話が展開されるのか。おすすめです。

芳賀 健 (応用化学科)

『CPUの創りかた』 渡波 郁 /著 毎日コミュニケーションズ /刊 発行年 2003.9

548.22

To 63

配架場所：7階

「コンピュータを作れ」と言われれば、1)CPUボード(マザボ)を買ってきて、2)メモリー、ハードディスク、ケースや電源、グラボなどを揃え、3)OSをインストールして……と本学学生(特に先進工学部)諸君であれば答えられる方も多いただろう。では「CPUを作れ」と言われたら?「それは個人では無理でしょ?」と考えるかもしれません。いえいえ、個人でも出来るのです。半田小手とテスト、抵抗・コンデンサー・ダイオード・ロジックIC(たった10個)があれば後は根気次第で出来上がります。ではどうやって?……まずは本書を読んでください。

中里 裕一 (ロボティクス学科)

『スモールワールド—ネットワークの構造とダイナミクス』 ダンカン・ワッツ /著 東京電機大学出版局 /刊

発行年 2006.1

415.7

W 49

配架場所：4階

「スモールワールド」とは、「地球上の誰もがたった6人によって分けられている。」(p.11)という現象です。この現象は、都市伝説とされていましたが、実際に米国での実験(手紙を出す)によって実証されてしまいました。6人も最大で、即ち、知り合いの知り合いの…最大6人の知り合いで世の中も皆知り合いなのです。本書はその興味深い現象を数学で表現し、電力網、インターネット、大きい会社・組織、そして、パンデミックなどに応用ができることを説明してくれます。特に新型コロナウイルス感染症のような疾患の拡散に対して、既に十数年前に数理モデルが立っていました。

呉本 堯 (情報メディア工学科)

『よくわかるデータリテラシー：データサイエンスの基本』 阿部 圭一 /著 近代科学社 /刊 発行年 2021.6

417

A 12

配架場所：4階

この本はデータサイエンスの基本となるデータリテラシーとデータサイエンスの基礎部分(統計学の基礎)を分かりやすく解説しています。理系文系を問わずすべての大学生向けに、あるいはデータサイエンスを学びたい社会人向けに、データサイエンスとは何かがわかるように書かれています。大量かつ多様なデータがあふれる現代社会において、間違ったデータや故意に誤解させるようなデータをどう見分けるか、自分にとって大事な信頼できる情報をどうやって見つけるか、そんな力を身につけるヒントを与えてくれるでしょう。

桑野 文洋 (データサイエンス学科)

『家族関係を考える』 河合 隼雄 /著 講談社 /刊 発行年 1980.9

081

Ks

590

配架場所
2階文庫新書

家族について、心理学者の筆者ならではの鋭い切り口で分析しています。また、文化論的な視点からも論じており、戦前の家族のモデルを捨て、欧米文化を取り入れた現在の日本の家族の問題点も浮かび上がらせています。印象深かった内容を引用して、紹介を終わりにします。

「子どもは真の大人になるためには、内面的な母殺しや父殺しをやり遂げねばならない。(中略)失敗すると、儀式として行すべきはずの父殺しや母殺しを、あるいは、子殺しを—再生への可能性を閉ざしたまま—家庭でやってしまうような悲劇も生じてくるのである。」(p165~166)

田中 実 (建築学科)

『妄想する頭 思考する手:想像を超えるアイデアのつくり方』 暦本 純一 /著 祥伝社 /刊 発行年 2021.2

336.2

R 25

配架場所：4階

著者は、二本指でスマホの画面を拡大縮小する技術、スマートスキンの開発者。本書は、突拍子もない妄想がイノベーションのカギとなり(妄想する頭)、それを形にするための方法(思考する手)を実例や著者の経験を交えながら教えてくれる、という内容である。イノベーションを起こす、という大きな目標ではなくても、アイデアを生み出す機会のある人には楽しく妄想力を伸ばすヒントとなる一冊。本学で学ぶ「思考する手」や「悪魔のように高い技術力」の土台に、「妄想」を加えることでわくわくするような新しい発見があるかもしれません。

齋藤 早紀子 (共通教育学群)

ライブラリーカフェを開催しました。

2022年7月15日（金） マルチメディア教室

共通教育学群の佐藤杉弥先生をお招きし、「SFの実現性」をテーマにお話いただきました。SF作家が想像した未来や架空の技術が現在どこまで再現されているのかを、SF小説や映像作品を紹介しながら解説していただきました。途中、プラズマ実験もあり、参加者27名は興味深そうに見入っていました。

今回ご紹介いただいた図書は、LCセンターで借りることができます。ぜひ、手に取って、ご一読ください。



「新型コロナウイルス」感染防止にご協力をお願いします。

- ・館内ではマスクの着用、手指の消毒をしましょう。
- ・手に取った本は、書架に戻さず「返本台」に置きましょう。
- ・ソーシャルディスタンスを保ちましょう。
- ・ブックラウンジでは、1テーブルにつき、1人で利用しましょう。



ご協力をお願い致します。



ブックラウンジ



手指の消毒

ライブラリーサポーターを募集しています。

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いしてくださる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募お待ちしております。

応募資格: 本学に在籍する学部生・院生（学科・学年不問） 無償ボランティアでの活動となります。

活動期間: 年度単位。月1回程度のミーティング。
イベントや作業中はその都度集まります。

活動内容: ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

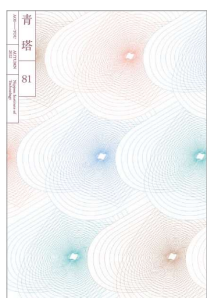
応募方法: LCセンターにて配布の応募用紙を2Fカウンターに提出。



ミーティング中



Twitterはじめました。
フォローお待ちしております。
(QRコードからアクセスしてください)



『青塔』秋号を発行しました。

秋号は、大学生活や研究テーマを中心に、主に新任の先生方にご寄稿いただきました。

LCセンター内で配布しています。
ご自由にお持ちください。
リポジトリでも公開中です。

特集展示

場所：LCセンター2階 特集展示架

9/26（月）～10/13（木）「気候変動とわたしたち」
SDGs特集として、気候変動についての図書を中心に展示します。

10/24（月）～11/19（土）「先生と先輩のすすめる本」
選書ツアーと250文字ブックレビューの図書を展示します。

開館カレンダー（変更になる場合があります。）

10月 October							11月 November							12月 December							2023 1月 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1			1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				
30	31																										

通常開館日 9:00-20:30 休館日 日曜・祝祭日・本学休業日 短縮開館日 9:00-17:00 変更開館日 9:00-20:00